

令和6年度 諏訪市立城南小学校 グランドデザイン

全校研究テーマ
「主体的に学び、ともに
深めあう子ども」

学校長の願い

教職員と子どもで共通した合い言葉
「ともそだち」
～自分も大切 みんなも大切
笑顔いっぱい ともそだち～

- ①主体的に学ぶ子ども
 - ・主体的に学び、自己肯定感を高めていくための授業改善
- ②自他を大切にできる子ども
 - ・温かな人間関係作りによる他者理解、多様性の受容
- ③創意工夫をしていく子ども
 - ・児童の主体性が発揮される活動の設定
 - ・学校内外の教育的リソースの活用による充実した活動の設定

学校教育目標
自ら学び 認め合い 未来を創る子ども

めざす児童の姿

自ら学び
(笑顔で)

主体的に学び
考え、表現する

認め合い
(受け止め)

様々な考え方や
多様な個性を受け入れる

未来を創る
(見据える)

探究力・思考力・判断力を
身に付け
よりよく生きる自分をつくる
ふるさと諏訪の未来を創造していく

諏訪市 **未来創造「あい」プラン**

「すべての子どもは自ら伸びようとする主体的で能動的な存在である」

「学びあい」プラン
(小中一貫教育を生かした学びの改革)

「認めあい」プラン
(不登校支援といじめ防止)

「支えあい」プラン
(インクルーシブ教育の充実)

施設分離型小中一貫教育の実践

「接合を意識した教育課程編成」「挨拶・清掃・歌声の充実」「生徒会との交流」「合同研究・研修の実施」

地域とのつながり

- ・城南小CSの活動
(学習支援・ふれあい農園・読み聞かせ・安全ボランティア)
- ・地域への積極的な発信
- ・気持ちのよい挨拶
- ・HP、校長室だより、学校だよりによる情報発信
- ・城南ふれあい講座

学びの充実

○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

- ・思考力・判断力・表現力を高めるための主体的・対話的な学びの充実
- ・自己肯定感を高める主体的に学びの場の充実
- ・単年内自由進度学習による「自立した学習者の育成」

○誰ひとり取り残さない授業の構築

- ・「取り組みたい」「必要だ」と思える教材や課題・発問の工夫
- ・深い学びにつながる対話活動、安心して発信できるグループ学習
- ・タブレット、電子黒板をはじめとするICTの活用
- ・継続して着実に力を伸ばす「モジュール学習」
- ・授業におけるユニバーサルデザインの研究推進

人間関係づくり

○みんなが安心できる学校

- ・気持ちのよい挨拶を交わし合う雰囲気づくり
- ・ともペア活動など学級を越えた人間関係づくりの場の設定
- ・道徳教育の充実、自他を大切に人権感覚
- ・いじめ、不登校未然防止のための、きめ細かい対応

○多様性への理解(インクルーシブ教育の推進)

- ・ルールや約束事の共通理解と、それを大切にする学校生活
- ・様々なコミュニティで受け入れてもらえる経験の積み重ね
- ・支援を要する児童への異なる学級間での連続した支援、教育支援計画・個別の指導計画の活用

探究的な学びによる未来創造

○児童が主体となる活動の充実

- ・児童が主体となって進める行事のあり方の研究
- ・CS運営委員や中学生とともに行う活動の設定
- ・自ら考え、主体的に取り組む児童会活動
- ・斬新な発想を活かした「児童会まつり」

○すわっこ学習・ものづくり科の充実

- ・自己課題をもち、主体的・探究的に学べるようにするための題材研究
- ・地域とつながり、地域の力を取り入れる生活・総合
- ・探究的な学びの成果発表「城南フェス」の位置付け

評価指標(アンケート調査による)

- ・「自分にはよいところがあると思う」児童の割合 : 40%を目指す(令和5年度は35%)
- ・「授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う」児童の割合 : 40%を目指す(令和5年度は28%)
- ・「学校へ行くことが楽しいと思う」児童の割合 : 45%を目指す(令和5年度は39%)